

第3次総合計画第4期基本計画第5回総合計画審議会議事録

日 時：平成27年11月19日（木） 14:30～16:45

場 所：東金市役所3階第1委員会室

出席者：委員（別添参照）…16名

総務部長、市民福祉部長、建設経済部長、教育部長、議会事務局長、会計管理者、教育部技監、総務課長、財政課長、特命プロジェクト担当主幹、特命プロジェクト担当主査補、企画政策部長、企画政策部参事、企画課長、企画課副課長、企画係長、企画課主査補、企画課副主査、企画課主事補

※審議会で提示した資料については非公開とする。

1 開会

（司会 企画課長）

2 会長あいさつ

〔会長〕 第3回までの審議会では、人口ビジョン及び総合戦略について審議してきた。前回の第4回審議会では、第3期基本計画を振り返りを行った。

今回の審議会からは、第4期基本計画についての審議に入っていく。委員の皆様から意見を賜り、その意見を市政に反映していきたいと考えている。

3 議題

〔企画課長〕 議題の進行については、東金市総合計画審議会条例第5条第1項の規定により会長に議長をお願いしたい。

（会長…了解）

〔会長〕 本審議会では、3つの議題が提案されている。今回の審議の内容をもとに、12月に実施予定の第6回審議会第4期基本計画の素案が提示される予定である。その素案についてパブリックコメントを行い、年明けから案を取りまとめていく。本審議会での意見が素案に反映されるため、こまかく審議していただきたい。また、時間内に発言できなかった意見については、意見提案書を後日事務局に提出していただきたい。

○（1） 第4期基本計画策定方針について（報告）

〔会長〕 第4期基本計画策定方針について説明を求める。

（企画係長…資料①により、第4期基本計画策定方針の概要について説明。

策定方針は、第4期基本計画を策定するにあたり、市役所庁内における意思統一を図るために発布したものである。10月30日に策定したので、報告させていただいた。

基本的方向性として、①『第3次総合計画の総仕上げとしての計画とする』②『東金市人口ビジョン・総合戦略で示す将来像の実現に向けた「東金」創生の第一歩を踏み出すための計画とする』③『第3期基本計画で蒔いた種を萌芽、育成し、時期総合計画で大輪の花とさせるための計画とする』の3点を策定。

また、目標設定と目標管理ができる計画として、現行の第3期基本計画と同様、広く市民の声を集約できる市民アンケートを毎年度実施することを予定している。

重点施策として、①『東金市まち・ひと・しごと総合戦略における重点施策』②『東金市まち・ひと・しごと総合戦略における短期実施事業』③『第3期基本計画において立ち上げた事業の継続性の維持』④『市民協働のさらなる推進』⑤『行財政改革』の5点を策定。）

(意見・質問)

[委員] 3つの基本的方向性を受けて、重点施策を考えたと思われるが、その重点施策を実施することで何が生まれるのかを説明していただきたい。

[企画係長] 第4期基本計画においては、総合戦略が大きなウェイトを占める。そのため、人の呼び込み、まちの活性化が第4期基本計画のポイントとなってくる。2060年時点で34,000人という社会保障人口問題研究所の推計に対して、2060年まで50,000人をキープするという展望をした。その目標を叶えるためのまちづくりを進めるということが1点挙げられる。また、これまで行ってきた事業を継続していくことも重要である。第4期基本計画は、積極的にまちづくりを進めていく。

[委員] 東千葉メディカルセンターをつくる際、計画時点では「50数億円の経済効果がある」と市内部からのレポートがあった。しかし、結果は赤字になっている。重点施策を実施することでどう変わるのか、何が生まれるのかをもう少し明確に説明していただきたい。もちろん予想が外れることもあるが、計画というものは効果を想定しなければ、いくら投資するかという問題も含めて難しくなる。

[会長] 市がどのように運営に取り組んでいくかということは、市長の考え及び市民一人ひとりの考えが関わってくる。事務局は、今年度策定した総合戦略を強調したものを用意している。一方で、第3次総合計画の総仕上げとしての計画でもある。

[委員] 20年計画である第3次総合計画では、人口75,000人を目指してきた。しかし、現実として、2060年に34,000人という推計がなされ、なんとか50,000人をキープすることが目標になっている。このことについては、第4期基本計画において数値的に表すとのことで納得をしたところである。しかし、資料①のどこを見ても第4期基本計画終了時(平成32年時)での人口が記されていない。5ヵ年計画として、どこを目指しているのか、そのために何をするのかという説明をしていただきたい。

[企画課長] どこを目指すのかという目標については、人口目標が分かりやすい例として挙げられる。それについては、議題(2)において、コーホート変化率法を用いた人口推計の資料を提示する。議題(2)について当局から説明し、その後改めて委員の質問に対してお答えするというのはいかがか。

[委員] 3つの基本的方向性を掲げているが、具体的な着地点が見えない。ここの部分に関しては、しっかりと説明をしていただきたい。

[会長] 資料①は、第4期基本計画の策定方針、つまり計画の作り方だけなので、委員が指摘している点については次の議題でご審議いただきたい。

○(2) 第4期基本計画総論(たたき台)について

[会長] 議題(2)第4期基本計画総論(たたき台)について説明を求める。

(企画係長…資料②及び④により説明を行う。)

第4期基本計画については、12月22日(火)に予定されている次回の第6回審議会において素案を示したいと考えている。今回は、そのたたき台ということで資料を示した。

基本計画は総論と各論の2部構成。そのうち、基本計画の全体的な方向性を論じる総論についての説明。未記入の部分や誤字脱字等もあるが、まずはイメージを持っていただきたく、資料として提示した。この総論は、議題(1)で説明をした策定方針をもとにして作成している。

第1章では第3次総合計画・基本計画の経緯、概要について記載。前半では総合計画についての体系図を記載。後半では、これまでの基本計画の経緯について記載する。第2章では第4期基本計画の策定主旨、計画期間、構成について記載。第3章では地方創生について記載する。これは、第4期基本計画から新たに付け加える章である。総合戦略及び人口ビジョンの概要について記載している。第4章では、現状と課題について記載。まず、第3期基本計画で人口をどのように推計したのか、実績はどうだったのかについて触れる。そして、第4期基本計画における人口推計を、コーホート変化率法を用いて算出している。市の財政状況や5か年の収納税額の状況等についても示していく。なお、人口については、資料④で1歳刻みの推計を示している。目標管理については、以前の会議資料から抜粋している。また、第3期基本計画において重点施策に位置づけられた事業の実績についても触れる。第5章では、第4期基本計画の基本方針について記載。内容は、第4期基本計画の策定方針から抜粋している。財政フレームについても書き込むが、歳入の推計が現状で未確定であるため、詳細については次回の審議会で示したい。今後の行政運営には、ヒト・カネ・モノといった行政資源の最適な配分が必要になる。特に、第4期基本計画では、総合戦略で掲げた目標もあり、積極的なまちづくりをしていく。集中と選択はもちろんだが、それだけではなく、新たな財源の確保に努めなければならない。具体的には、若い世代の転入による税収の確保、優良な住宅地の確保、企業の誘致等が考えられる。実効性の確保としては、市長目標及び部長目標を設定し、市民アンケートを実施する。)

(意見・質問)

[会長] 次の議題(3)において各論を扱う。事務局から各論について説明を受けた段階で、委員一人ひとりに発言をする時間を設けたい。ここでは、総論に関して意見のある委員のみ発言していただきたい。まず、総論の第1章についての意見はあるか。

(全委員…反対意見無し)

[会長] 第2章についての意見はあるか。

(全委員…反対意見無し)

[会長] 第3章についての意見はあるか。

[委員] 総論のp13に目標人口についてのグラフがあるが、2020年時点の人口が第4章のコーホート変化率法による推計値と異なっている。この2つの数字の関係と意味を教えてください。

[会長] 第3章に示されているものは、人口ビジョンの内容であり、5年前の国勢調査の数値で推計されたものである。一方、コーホート変化率による推計は、東金市が住民基本台帳をもとに毎年独自に行う調査結果で推計しているものである。そのため、2つの数値は一致していなくても問題はないと考える。

[企画課副課長] その通りである。

[委員] 一致させて欲しいのではなく、2つの数字が持つ意味を教えてください。

[企画課副課長] まず、p13で提示している人口の将来展望について説明する。2010年の国勢調査の数値を用いた国立社会保障人口問題研究所の推計で、2060年時点で34,000人に落ち込むという結果になった。これを防ぐため、社会移動や出生率を向上させ、人口50,000人をキープすることを目標にしたところである。p13の2020年の数値は、人口50,000人を維持するために2060年まで推計したものの、2020年時点の数値である。それに対し、p25の人口推計の値は、平成23年度から平成27年度までの住民基本台帳に登録されている人口の実績をも

とに、コーホート変化率法を用いて算出した単純な推計値である。

[委員] 『p 25で示されている、2020年時に人口58,686人という数値は単純な推計値で、p 13に示されている人口59,683人という数値は努力目標』という理解で間違いはないか。

[企画課副課長] その通りである。

[会長] p 13の推計のもとになっているのは、2010年の国勢調査であり、今年度行った国勢調査の結果で数値が変わってしまうと思う。そのため、この推計に基づいて施策を行うと道を誤る可能性がある。しかし、人口ビジョンの中で『2060年まで50,000人を維持する』という目標を掲げたのは素晴らしいことであり、それに至る道のりの中で2020年に59,683人という目標を掲げたのは必要なことであると思う。

[委員] 本当に2020年に59,683人を目指すのか。現在、当市の人口は60,000人を超えていると記憶している。あと5年間で1,000人減るという計画をたてるのか。

[企画課長] 委員が指摘することの裏には、第3次総合計画で謳った人口75,000人という目標があると思う。しかし、日本全体で人口減に向かっている現状では、東金市も人口減は避けられないと考えている。そのため、現状の人口よりも低めに目標を設定することは致し方なく、人口減少を抑制するという方向性になる。

[会長] この審議会として、2020年の人口の目標値を設定する必要があると考える。それは、第3次総合計画策定時の人口75,000人という目標値ではなく、またコーホート変化率法によって算出した数値でもなく、心がけとしての数値を目標として設定することが求められる。委員が指摘しているのはその点だと思われるが、そのような数値があれば示していただきたい。

[企画課副課長] p 25で示している数値はコーホート変化率法による単純な推計値であり、この数値を目標にするものではない。現時点では人口ビジョンで設定した2060年に50,229人という目標があり、その将来展望では、通過点の2020年時点で59,683人ということになる。これが2020年の目標というわけではないが、目標を考える際のひとつの目安である。

[会長] それでは、端数を切って59,700人を目標とするのはどうか。

(全委員…反対意見無し)

[会長] 第3章の実施予定事業に記載されている『中・長期で検討する事業』は、第4期基本計画の5ヵ年では実施しないのか。

[企画課副課長] 実施しないというわけではなく、検討自体はすぐにでも着手するものも含まれている。さらに、財源の確保により、前倒しで実施したいと考えている事業もある。

[会長] それでは、第4章について意見のある委員はいるか。

[委員] 『第3期基本計画における主な事業実績』の中の緑花木センターについて教えていただきたい。今後の課題として『情報発信基地としての更なる活用』を挙げているが、現状の実績はどうか。情報発信基地としてはまだ力不足のように感じている。

[企画課副課長] 情報発信基地としての成果として、みのりの郷マルシェ内に設置しているマルチスクリーンが挙げられる。このスクリーンで様々な情報や市のPR動画を流している他、『マルチビジョンをなんとかし隊』というボランティア団体が『ふるさと動画大賞』を行うなどの活用をしている。しかし、そういった活動の頻度が少ないことや認知度が低い点は、現段階での課題である。

[委員] みのりの郷が11月から道の駅になったが、情報発信基地として強化された点や人の呼び込みという点についてはどうか。道の駅になってすぐの段階はイベント等で集客があるが、その後が問題であると考えている。道の駅になったということをどれだけの人知っているのか、どれだけに関心があるのかということ考えたとき、まだまだ情報発信が足りていないように感じる。

[建設経済部長] 11月7日(土)から道の駅の供用を開始している。2日間のイベントの集客数は1,700~1,800人で大幅な増加になっており、売り上げについても、1日あたり約250万円 で通常の倍近い売り上げとなった。情報発信についてだが、日本放送をはじめ新聞等にも掲載された。あわせて、国でもHPで情報が発信されるとのこと。しかし、委員ご指摘のとおり、今後いかにこの流れを継続させるかが課題である。道の駅の名に恥じない情報発信をもって、経営改善に努めたい。

[委員] p26に『第3期基本計画の財政結果見込み』が記載されているが、その中の歳入における市税をみると、5ヵ年の実績額が計画額を8億6千4百万円下回っている。この計画額は、第2期基本計画の実績費をどのように勘案して定めたのか。また、8億6千4百万円のマイナスの要因について説明を求めたい。

[企画課長] ご指摘の点については資料の用意がないため、回答は後日とさせていただきたい。

[委員] 第4期基本計画を策定する際にも重要な点になると考えられるため、共通認識を図りたい。

[会長] 計画額分市税が集まると考えたが、そこまで集まらなかったという話ではないか。

[委員] そこがどのように精査されているのかの説明をしていただきたい。

[総務部長] 計画額についてだが、この額は第2期基本計画までのトレンドを考慮して設定した。しかし、世の流れとして景気低迷が長引いたことがマイナスの要因である。現在、市税は毎年度約73億円である。この数字を考えると、5年間で約8億円の差は誤差の範囲であると認識している。

[委員] 確かに誤差といえば誤差かもしれないが、予算編成ができないくらいのインパクトがある数字である。目標を立て、どれだけのことをやったのかということが記載されなければ、活性化は実現しない。どのように taxation を上げていくかを考え、施策の反省を含めて記載されなければ、これからの計画はうまくいかないということを共通認識としたい。

[会長] それでは、第5章について意見のある委員はいるか。私からは1点。施策の方向性等これまでの流れを踏襲しているが、第3次総合計画を立てたときに『ときめき交感都市』という目標を掲げ、市民との協働について触れて計画を立てた。第4期基本計画は第3次総合計画の最後の計画であるため、総合計画で謳われている様々な理念等についてのアンサーを記載していただきたい。

[委員] 第4期基本計画の重点施策についてだが、羅列されているのみで、費用対効果が見えてこない。先ほど、人口が現状より1,000人減るという推計を示されたが、この重点施策がどう関係するのかを見せていただきたい。

[委員] 重点施策を見るとインフラ整備や制度整備ばかりで、具体的に市民の生活に繋がっていくような施策が見えてこない。また、医療の充実も心配である。高齢者が安心して生活できるまちというのは、次世代の人々も安心できるまちであると思う。きめの細かい、具体的な施策が必要であるように思う。

[会長] 重点施策についての記載はまだ未完成であり、これから埋められていく。具体的に書き込んでいく段階で、実施する施策の概要だけでなくその施策の狙いや想いも記載するよう、配慮いただければと思う。

[企画課副課長] 主要31施策については、各論部分でご指摘いただいたような丁寧な記載を考えていた。しかし、ご指摘の通り重点施策においてもそういった記載が必要と認識したので、できる範囲で反映するようにしたい。

[会長] それでは、第6章について意見のある委員はいるか。

(全委員…反対意見無し)

○(3) 第4期基本計画実施予定事務事業について

[会長] 議題(3)第4期基本計画実施予定事務事業について事務局からの説明を求める。

(企画係長…資料③により説明。

歳入見込みが固まっていない状況ではあるが、各課が実施を考えている事業をとりまとめた。これらの施策分野別に分類された掲載予定事業が各論になってくる。

各論の書き方としては、まず施策の目標について記載する。次に、これまでの取り組みと現状認識として、事業実績や積み残し課題について記載する。その次に、今後の展開として今後5年間における当該施策の方向性等を示す。その後、主な基本事務事業として、当該施策の範疇となる基本事務事業のうち代表的なものを掲載する。新規事業や市民意識の高いものを中心に、事業の概要も含めて記載する。最後に、課長目標として、5ヵ年における目標を記載。この目標値については、総合戦略のKPI等を勘案して設定する。

基本計画に掲載する予定の事務事業は600近くある。この中には、新規で実施する事業や総合戦略において短期実施事業に位置づけられている事業も含まれている。資料③にある事業の中には、事業費がかからない事業もある。

第4期基本計画5ヵ年の歳入見込みが固まり次第、それぞれの予定事業費を積み上げ、財政フレームに納める。その過程で、先送りする事業が出てくることも考えられる。

企画課長…補足説明。それぞれの政策の柱の下に31施策がぶら下がる形になる。また、今回示した各論の型はあくまで例示であり、第6回審議会のときには整理した形でしめしたいと考えている。)

(意見・質問)

[会長] 意見や質問等を、委員一人ひとりから伺いたい。

[委員] 資料③で挙げられている事業数が膨大で、資料を読み込めない。絞込みをした方がいいと考える。数が多すぎると、市民も理解しきれないと考えられる。

[委員] 掲載予定事業の多くが継続事業である。これらの継続事業をすべて載せるのかという点は考えた方がいいように思う。また、今後高齢者が増えていくと予想されるので、高齢者が担い手となれるような事業や仕組みがあれば良いのではないか。

[会長] 短時間で資料の全てを読み込むのは厳しいので、後日意見提案書を事務局に提出することもできるが、その際の期限はいつ頃になるか。

[企画係長] 12月10日(木)までとしたい。

[委員] やるべきことは全て記載されていると思うが、市民の肌に伝わるようなものは書かれていないように感じる。市民目線で記載するのが良いと思う。

[委員] ふるさと納税推進事業についてだが、お礼の品にふさわしいような特産品が思い浮かばない。東金には何でもあるが何もないように感じる。また、県のホームページを見たところ、ふるさと納税実施自治体の一覧に東金市が載っていなかった。何か特徴のある物を作れたらいいと思う。

[委員] 東金市は少し遅れてふるさと納税事業を実施したため、委員が見たタイミングではホームページ掲載に間に合わなかったのではないか。

※現在は県ホームページにも掲載済み。

[委員] 実施予定事業の中のどの事業が総合戦略に当てはまるのかが分かり辛い。第4期基本計画で重点を置く事業をもう少し明確にしていきたい。

[会長] 全て必要な事業だと思うが、選択と集中を行うことも必要である。委員の方々も、この場で

仕分けの意味をこめて意見を出していただきたい。事務局は、反映できるものは反映いただきたい。

[委員] 資料を見ると、継続事業がほとんどである。つまり、日常業務として実施しなければならない事業がそれだけあると認識している。難しいとは思いますが、柔軟な対応が必要だと感じる。事務が多すぎると余裕が無くなり、本当にやりたいことが出来なることもあると思う。

[委員] 第4期基本計画重点施策の『④市民協働のさらなる推進』について、現在地域で取り組んでいるところである。住みやすいまちをつくるには、地域が活性化されることが必要である。東金市には77の地区があるが、それを12地区に分けて協働事業を推進している。さらに、12地区のうち4地区では、具体的に事業を進めている。昨年度よりも協働事業が増え、さらに地区会長会議も増加しており、活性化を図っている。

また、先ほどふるさと納税についての意見があったが、地区のふるさと納税も推進している。特に公平地区では活発である。他の区でも頑張っていきたい。

[委員] 少子高齢化が進む今、高齢者に対する支援策を重点的に行えば、社会福祉の向上に繋がると考える。また、東千葉メディカルセンターの利用者が少なく、公共交通機関であるバスの利用者も少なくなっていることが問題となっている。東千葉メディカルセンターでは毎年20億円の赤字が出ているとの話もあるが、利用者が増えなければ改善されない。産科の問題もあるので、医療分野についても重点的に推進していただきたい。

[委員] 資料③ p 13の『観光施設整備事業』において、八鶴湖への進入路の整備が謳われているが、具体的にはどの程度考えているのか。八鶴湖の問題として、進入しづらいことや電柱が邪魔になっている。例えば、電柱の地中化等の考えがあるのか聞かせていただきたい。

[建設経済部長] 旧126号線は、現在大型バスの進入ができないようになっている。大きなイベントとして、観光協会の協力により、さくらまつり等が行われている。また、八鶴湖周辺の新たな資源開発ということで、花を咲かせようと力を入れているところである。このようなイベント対応と、東金駅西口の回遊性を確保するため、八鶴湖周辺に大型バス対応の駐車場の整備を考えている。

[委員] 駐車場の件については了解した。電柱を地中化する等の対策は時間がかかると思うので、少しでも早く動きがあれば良いと思う。

[委員] 次の第4期基本計画の5ヵ年で第3次総合計画が満了するので、各課で総力を上げ、できるだけ事業を実施していただきたい。その中で、みのりの郷や東千葉メディカルセンターに無理にお金をつぎ込むのではなく、5年後を見据え、確実にできるものから実施していただきたい。第4期基本計画を各課で共有し、各種団体に呼びかけることで、総力をあげて盛り上げてほしい。

[委員] 少子化の中で、限りある資源をどう配分するかということが大学でもテーマになっている。地元との連携をさらに強める方向で大学は進んでいる。さんむ医療センターや東千葉メディカルセンターからの奨学金で学生が卒業し、20名が就職する。その学生たちがどこに住むかということが問題であり、山武市では東金からどう転入を増やすかがひとつの課題になっている。また、大学の看護学部が助産師の養成課程を8名申請している。この助産師をどう地元に残すかということで、山武市では市長が中心となって病院との具体的な話を進めていくようである。

さらに、若い人口を定着させる手段として、高校と大学の連携がある。松尾高校がスーパーグローバルハイスクールに認定され、福祉分野において、城西国際大学及び筑波大学、千葉大学等と連携を行っている。また、成東高校が看護や薬学等の医療人材のプログラムを単位化するという動きがある。東金にも高校があるが、異なる地域から通う学生をどう東金に結びつけるかを具体的に考える必要があると思う。大学も他地域から通う学生が多い。そういう学生を東金にどう結びつけるかを計画に書き込むと、大学としても動きやすい。

[委員] 東金市は予算が脆弱であるので、選択と集中は必要なことである。そこで、何を選択するかが問題である。当市は国の方針に基づき人口ビジョン及び総合戦略を策定し、2060年に人口50,000人をキープし、合計特殊出生率を2.33に引き上げるという目標を立てた。これはかなり高い目標である。このような状況を考慮すると、婚活事業や子育て事業を選択し集中しなければならないと思う。また、現在東金市では4人に1人が65歳以上の高齢者という状況になっている。高齢化対策も重要である。このように、何をすべきかを明確にしていきたい。そして、集中する分野の事業に関してはしっかり予算をつけていきたい。

[委員] 資料②で示されている『第4期基本計画の重点施策』がポイントになる。これら重点施策が一目で分かるような資料作りの工夫が必要だと思う。また、大学との連携等の東金にしかできない施策についても重点を置くべきだと感じる。

[委員] 平成26年度では、平成25年度と比較して市税が3,000万円増加した。しかし、人件費及び社会保障費、扶助費が4億円増えている。それ以外の経費も増加しており、全体としては6億円経費が増加している。また、市民アンケートの結果も低下している。このような結果から、行政力が落ちていると考えられる。600近い事業が羅列されているが、それぞれどのような効果を生むのかを示していきたい。

[委員] 市政全般を網羅した良い計画という見方もできる。第4期基本計画は第3次総合計画の最終計画である。これまでの成果をよく検討し、15年間の積み残しを課題の要因を把握していただきたい。また、網羅したという点では良いが、集中すべきところを明確にしていきたい。現在、少子高齢化が問題となっている。この問題は、少子化対策と高齢化対策それぞれ別に対応する必要がある。高齢化についてはある程度仕方がないが、少子化については何らかの対策をすれば食い止めることができる。東千葉メディカルセンターやみのりの郷等も、収支について意見するだけでなく、どういう対策をするかを考えることが重要である。地の利を生かした政策が求められる。やらなければならない事業については、積極的に実施していただきたい。

[企画課長] 資料③が見つらなくなってしまったことについて謝罪申し上げる。次回配布時には、ある程度事業を抜粋し、分かりやすい資料になるように工夫する。今回の資料③は、各課から挙げられた全ての事業をまとめたものである。歳入枠が定まり、その枠に収めていく過程で、ある程度事業を削ることも想定している。

[会長] 資料③には、各事業に通し番号をつけていただきたい。また、行政として当然やるべき事務と、当市独自の事業の住み分けがされていない。東金市独自の事業をもう少し目立つ形で提示していただきたい。今回の資料は縦割りになっているが、各課の事業を関連させ、課をまたいだ横断的なものを検討していただきたい。

資料③のp4にある『放課後子ども教室』の中で、退職校長会の協力を得るとあるが、退職校長会に限る必要はないと思うので書き方を変えた方が良いのではないかと。また、p10の『鶺鴒の森公園整備事業』は、廃止ないしは休止を検討した方が良いのではないかと。そこにお金を使うのなら、みのりの郷のPRや斎場整備に力を入れた方がいいように思う。使うべきところにお金を使うようにしていきたい。p16の『交通安全施設整備事業』の中で、カーブミラー及び区画線等の整備を行うとある。東金市は歩道や自転車道路の整備が遅れているように思うので、こうした事業を拡充し、安全で快適なまちにしていきたい。また、廃止事業についても記載されているが、事業の見直しがないので、しっかり行っていただきたい。

ふるさと納税についてだが、似たような国の制度で、特定公益増進法人への税額控除というものがある。千葉県でも特定公益法人等に税額控除を行っているが、東金市にはまだそういった条例はない。

そうした条例を整備すれば、市内に事業所を構えてくれる団体も出てくる可能性がある。

残り15分ほど時間があるが、追加の意見等あれば発言願う。

(全委員…反対意見無し)

[会長] 東千葉メディカルセンターに関しての意見は、きちんと東千葉メディカルセンターに伝えていただきたい。広報広聴をしっかりと行っていただきたい。

○スケジュール確認

[企画課長] 次回の第6回審議会は、12月22日(火)14:30からを予定している。また、第7回審議会は、平成28年1月27日(水)14:30からを予定している。

議事の終了

4 閉会

以上